

富士山噴火に備えて
～ 火山ハザードマップとその活用法 ～

山梨県防災局

2021年9月版

説明する内容

1. 富士山噴火で生じる可能性がある火山現象について

2. 富士山ハザードマップとは

3. それぞれ火山現象からどう避難するか
～ハザードマップ改定のポイントと活用法～

1. 富士山噴火で生じる可能性がある火山現象について



2. 富士山ハザードマップとは

火山ハザードマップ

火山災害要因の影響がおよぶおそれのある範囲を地図上に特定し、防災対応をとるべき危険な範囲を視覚的に分かりやすく描画したマップ

>>> **避難計画の策定**に使用する

ドリルマップ



可能性マップ



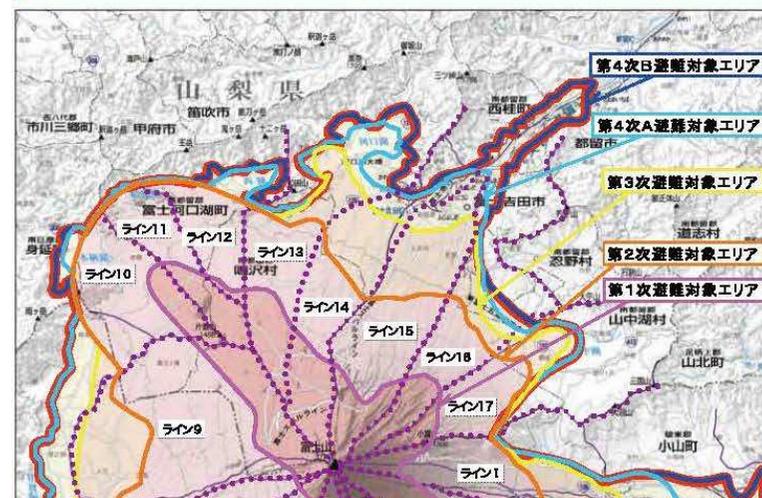
溶岩流可能性マップの一例

火山防災マップ

火山ハザードマップに防災上必要な情報を付加したマップ

>>> **避難時**に使用する

溶岩流等の影響想定範囲と避難対象エリア

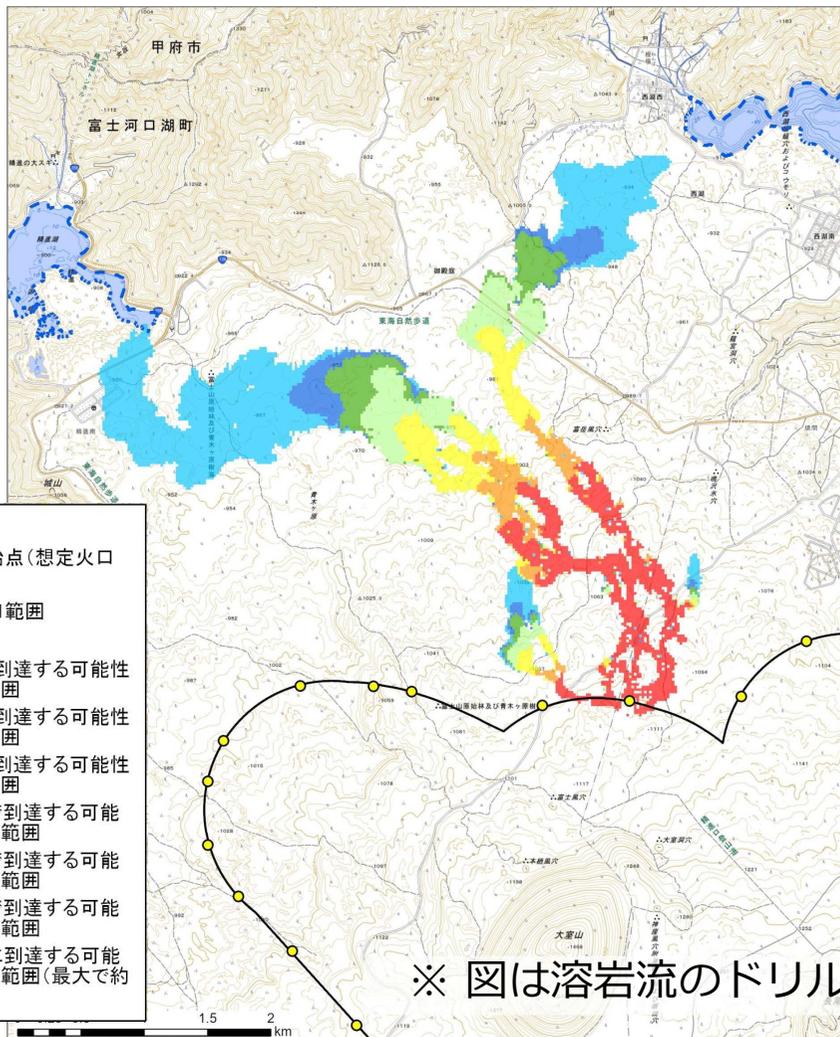


今回の改定

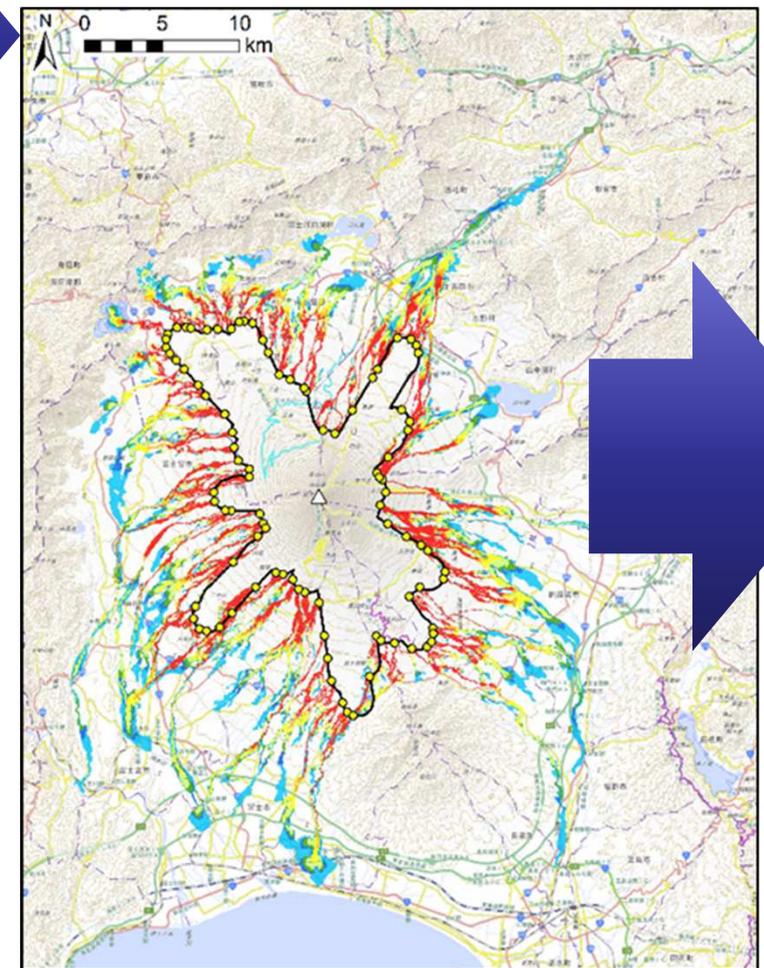
今後の改定

ドリルマップ

任意に設定した始点からの
シミュレーション結果を示したマップ

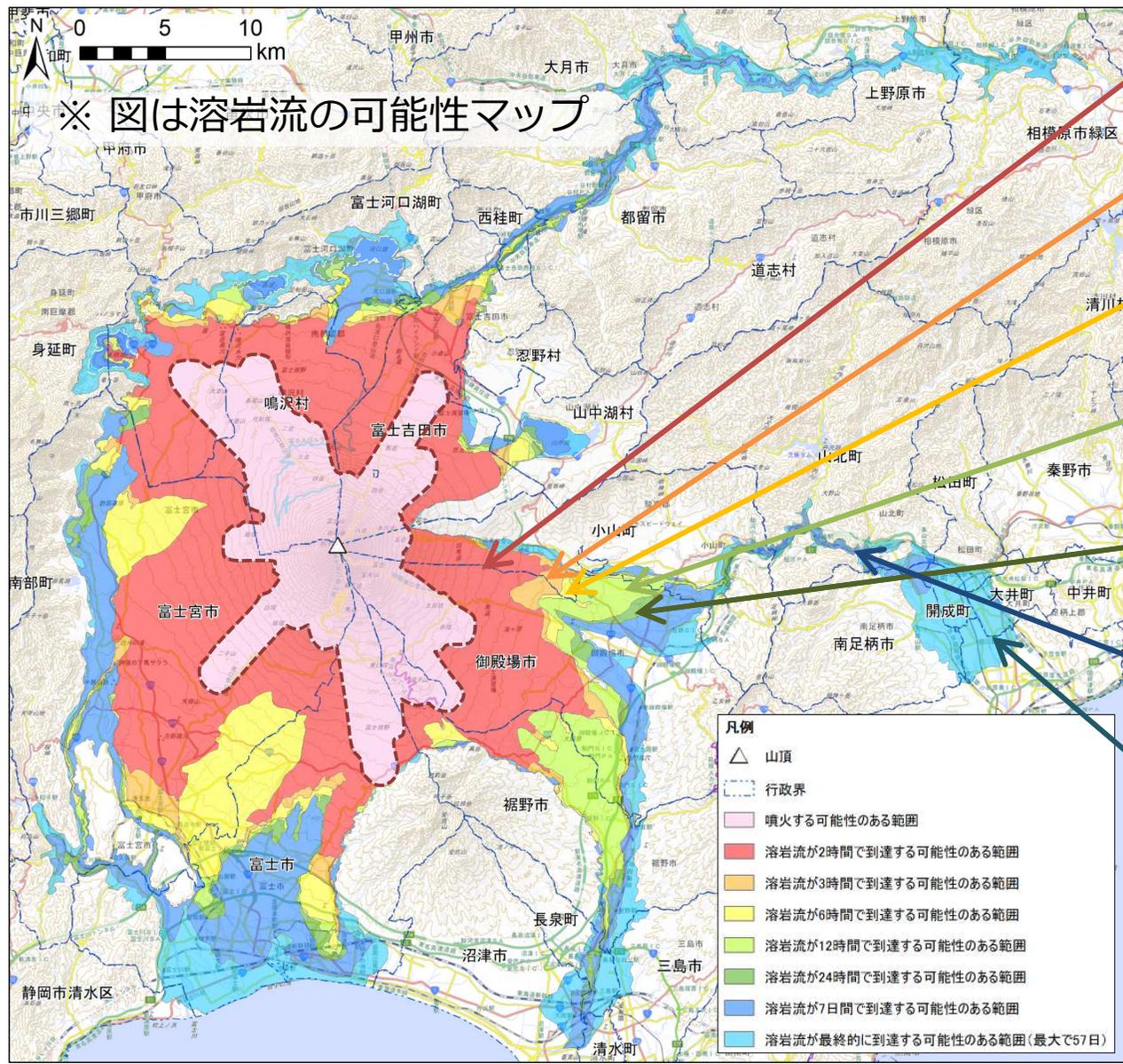


全てのドリルマップを
重ね合わせたマップ



可能性マップ

「可能性としてどこまで到達するか」を示したマップ



溶岩流が2時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が3時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が6時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が12時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が24時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が7日で到達する可能性のある範囲

溶岩流が最終的に到達する可能性のある範囲

(注) 一度の噴火で、ここに塗られた範囲の全てに溶岩流の危険が生じるわけではない。